

外苑

明治39(1906)年、一般に向けて公開されたエリア。京都・燈明寺から移された室町時代の建築・三重塔がランドマークとして配され、ウメ・サクラ・ハナショウブ・ハスなど、四季折々の花を中心に楽しめます。

外苑の建造物

1 正門門柱 せいもんもんちゅう

建築年：明治39(1906)年
開園時には、三溪自筆による「遊覧御随意(ゆうらんごすい)い) 三溪園」の表札が掲げられました。

2 旧燈明寺三重塔 きゅうとうみょうじさんじゅうのとう **重要文化財**

建築年：室町時代 康正3(1457)年／移築年：大正3(1914)年
京都・木津川市の燈明寺(廃寺)にあった建物。
現在、関東地方にある木造の塔では最古。

3 林洞庵 りんどうあん

建築年：昭和45(1970)年
宗偏流林洞会から寄贈された茶室。

4 横笛庵 よこぶえあん

建築年：明治41(1908)年
田舎家風草庵。
奈良・法華寺からの移築ともいわれるが、詳細は不明。

5 旧東慶寺仏殿 きゅうとうけいじぶつでん **重要文化財**

建築年：江戸時代 寛永11(1634)年／移築年：明治40(1907)年
縁切寺の名で知られる鎌倉・東慶寺にあった禅宗様の仏堂。

6 旧燈明寺本堂 きゅうとうみょうじほんどう **重要文化財**

建築年：室町時代 康正3(1457)年／移築年：昭和62(1987)年
三重塔と同じ、京都・燈明寺から移築。

7 旧矢筈原家住宅(合掌造り)

きゅうやのはらけじゅうたく **重要文化財**

建築年：江戸時代後期／移築年：昭和35(1960)年
飛騨・白川郷にあった建物。園内にある歴史的建造物の中で唯一内部を見学できる建物です(9:00〜16:30)。式台玄関や書院造の座敷など農家ながら立派な接客の空間を備え、寺院に用いられる火灯笼がつけられるなど、飛騨の三長者の一人ともいわれた矢筈原家の豪勢ぶりがうかがわれます。現存する合掌造では最大級の民家。
屋内では飛騨地方で使われた民具を展示しているほか、いろりでは毎日薪がくべられています。黒光りした柱や煙の匂いが昔の生活をほうふつとさせてくれます。

8 鶴翔閣 かくしょうかく **横浜市指定有形文化財**

建築年：明治35(1902)年 平成12(2000)年修復
三溪が住まいとして建てた、延床面積950㎡の規模を誇る建築。三溪と交流のあった文化人や政財界人らが多く出入りした場所としても知られています。第2次世界大戦中に改築されましたが、近年の復旧整備により創建当初の姿にもどされました。現在では、さまざまな利用に対応可能な貸出施設として活用されています。



内苑

原家が私庭として使用していたエリア。かつては"桃山御殿"と称された臨春閣を中心に古建築と庭園が一体となった空間が広がります。

内苑の建造物

9 御門 ごもん **横浜市指定有形文化財**

建築年：江戸時代 宝永5(1708)年ごろ／移築年：大正時代
京都東山の西方寺にあった薬医門。

10 白雲邸 はくうてい **横浜市指定有形文化財**

建築年：大正9(1920)年 倉は大正10(1921)年
三溪が隠居所として夫人とともに暮らした数寄屋風建築。
倉は初期の鉄筋コンクリート造。

11 臨春閣 りんしゅんかく **重要文化財**

建築年：江戸時代 慶安2(1649)年／移築年：大正6(1917)年
紀州徳川家初代藩主の頼宣が和歌山・紀ノ川沿いに建てた数寄屋風書院造りの別荘建築。内部には狩野派などの絵師による障壁画の複製(オリジナルは三溪記念館で保存・展示)や洗練されたデザインが各所にみられます。

12 旧天瑞寺寿塔覆堂 きゅうてんずいじじゅうとうおおいどう **重要文化財**

建築年：桃山時代 天正19(1591)年／移築年：明治38(1905)年
豊臣秀吉が京都・大徳寺に母の長寿祈願のために建てさせた寿塔(生前墓)を納めるための建築。

13 月華殿 げっかでん **重要文化財**

建築年：江戸時代 慶長8(1603)年／移築年：大正7(1918)年
京都・伏見城にあった、大名来城の際の控え所として使われたといわれる建物。

14 金毛窟 きんもうくつ

建築年：大正7(1918)年
三溪の構想による一畳台目(1.8畳ほど)の茶室。

15 天授院 てんじゅいん **重要文化財**

建築年：江戸時代 慶安4(1651)年／移築年：大正5(1916)年
鎌倉・建長寺近くの心平寺跡にあった禅宗様の地藏堂の建物。

16 聴秋閣 ちようしゅうかく **重要文化財**

建築年：江戸時代 元和9(1623)年／移築年：大正11(1922)年
京都・二条城内にあったといわれる、徳川家光・春日局ゆかりの楼閣建築。

17 春草廬 しゅんそうろ **重要文化財**

建築年：江戸時代(小間) 広間部分は三溪園移築後に増設。
移築年：大正11(1922)年
三畳台目(3.8畳ほど)の小間は織田信長の弟・有楽(うらく)の作といわれる茶室。

18 蓮華院 れんげいん

建築年：大正6(1917)年
三溪の構想による茶室。

19 海岸門 かいがんもん

建築年：江戸時代／移築年：大正時代
御門と同じ、京都・西方寺にあったもの。